

社会福祉法人イースターヴィレッジ
自立援助ホーム マルコの家

お待たせしました!
残暑号

「自立援助ホーム マルコの家」は、様々な理由で家庭からの支援が受けられない15歳～20歳迄の子ども達の社会自立を支援する施設です。

マルコの家 通信

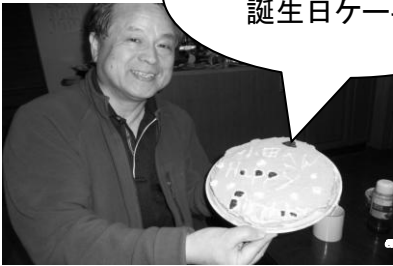
No.11 2014. 8

自立援助ホーム マルコの家
〒328-0042
栃木県栃木市沼和田町14-28
☎・FAX 0282-21-7740

Email: info-marc@easter-village.or.jp
HP: URL <http://marchome.web.fc2.com/>

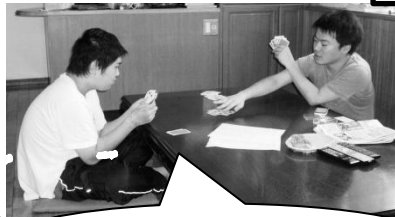
マルコALBUM

子ども手作りの
誕生日ケーキ♪



子ども達の自立支援の
為、ご寄付のご協力を
お願い致します。

振込先 ゆうちょ銀行
口座番号 00150-6-774249
加入者名 マルコの家(マルコノイエ)
※2,000円/年 以上の寄付をされると
法定控除が受けられます。



第3回、誕生学講座

トランプゲームに夢中!

夏はやっぱり花火!!



Happy birthday♪

毛づくろい中(笑)

疲れ寝(*^^*)



手作りフラペチーノ(旨)!

自立した子どもと夕食

手作り餃子お手伝い



たこ焼き(*^_^*)

はい、チーズ!!

寄贈して頂きました皆様、感謝!

永島 安紀 様
福田 公子 様
関根 光晴 様
峰崎 料子 様
須藤 光三 様
富永 和美 様
落合 敬子 様
大島 悦子 様
鹿沼 清一 様
渡辺 貞男 様
永島 安紀 様
鹿渡 直人 様

新里 登喜子 様
木下 美恵子 様
川辺 鉄三郎 様
関口 ふみ子 様
柴田 浩 様
星野 進 様
関口 尚 様
金龍寺 様
とちぎVネット 様
飛鷹 明夫 様

くらら 様
大原 様
大島 様
臼井 様
あさだ 様
高山 様
大原 様
小林 様
たんぽぽ 様

※ 順不同で掲載しております。
※ 他にも匿名で寄贈して下さいました方々もいらっしゃいます。
※H26. 8. 10 ㄨ

Marco Home News

映画の上映会のお知らせ!!!



この度、自立援助ホーム マルコの家 は、認定NPO法人 サバイバルネット・ライフ様の協賛を頂き、自立援助ホーム マルコの家 主催にて、映画の上映会を行います。

「トークバック〜沈黙を破る女たち〜」という女性達のDVやドラッグ、レイプや虐待といった問題に焦点を当て、それを乗り越える姿を描いた、とても印象深い映画です。是非、多くの皆さまに御覧になって頂きたい作品です。

当日は、坂上香監督とのトークバックセッションも予定しています。

お誘いあわせの上、お越しくださいますよう、お願い申し上げます。

“とちぎ夢ファーレ” 助成事業です。

日にち	平成26年9月15日(月曜日・祭日)	前売券	学生 500円
場所	栃木市文化会館 小ホール		大人 1,000円
時間	開場 14:00~ 上映14:30~	当日券	学生 800円
	終了予定時刻 17:30		大人 1,300円

上映終了後、坂上香 監督とのトークバックセッションあり

学生の方は、学生証の提示をお願い致します。

【チケットのお申し込み・お問い合わせ】
自立援助ホーム マルコの家
0282-21-7740

平成25年4月1日～平成26年8月10日までのバザー及び、プレゼンテーション等収入報告

内容	回数	収入
バザー	5回	36,222円
プレゼンテーション	11回	345,300円
フェスティバル	2回	25,979円
合計	18回	407,501円

多くの皆さまに御協力頂き、左記の収入を得ることができました。全額、マルコの家の子どもの福利厚生及びマルコを家の運営費用に充てさせていただきます。今後とも、よろしくお願い致します。

寄付を頂きました皆様 心より感謝いたします (H25. 4～H26. 8)

牧山 節子 様	村上 真理子 様	星 圭子 様	林 美恵子 様	伊藤 久子 様
斉藤 昌子 様	坂根 みち子 様	森 克子 様	本田 仁郎 様	松本 文男 様
内藤 侑子 様	柿崎 みどり 様	志摩 勇 様	渡邊 春菜 様	古武 京子 様
新井 伸子 様	川辺 鉄三郎 様	星野 進 様	溝井 光子 様	木原 裕子 様
田上 徳子 様	船田 登美子 様	溝渕 操 様	渡辺 美華 様	小深田 宣子 様
小柳 勝子 様	吉田 ユリノ 様	田上 中 様	根岸 征晴 様	日向野 幸子 様
須藤 光三 様	星野 千恵子 様	森 伸子 様	有田 圭介 様	ジョン・ビファ 様
樋口 京子 様	西田 百合子 様	齊藤 隆 様	米沢 陽子 様	バルトロメオ・マクマホン様
佐藤 哲也 様	高野 紀代美 様		飛鷹 明夫 様	御前 ザビエル 様
寺内 幸子 様	百相 由希子 様		鯉沼 桂子 様	
湯澤 靖子 様	八木橋 丈夫 様		田中 桃子 様	
木谷 英子 様	原田 光津子 様		井原 高弘 様	
米田 清美 様	横田 たつ子 様		若山 嘉子 様	
道下 恒夫 様	金子 万寿美 様		石井 里恵 様	
川村 智子 様	中尾 美沙子 様		今泉 洋平 様	
青木 郁子 様	牧野 ルル子 様		小林 孝司 様	
加藤 良子 様	杉山 謙二郎 様		落合 敬子 様	

Marco Home needs your support

Since 4 years **Marco Home** in Tochigi prefecture accommodates teenage boys and girls after their compulsory school education.

Most of them are suffering from P,T,S,D(Post Trauma Stress Disorder) because of the violence, neglect, and sexual abuse, etc, they have gone through.

Moreover, they also show attachment disorders which cause troubles like sexual harassment, and lack of respect even for persons helping them. It takes a long time for them to solve their problems as they prepare themselves to be self-reliant. For in the past, all of them have been brought up amidst abnormal circumstances. Thus their life is hard as they are paying part of what they cost to **Marco Home**, they have to pay the charges for their cell phone, health insurance, taxes, remittance of their debts, and they are even trying to make some savings. Moreover, they have a hard time to express their basic loneliness.

As foster parents or second family at reachable distance we, at **Marco Home**, foster never-ending relations with these boys and girls, whenever they need help or encouragement. Since all of them didn't get any parenting of support from their relatives, we intend to assist them in view of their becoming self-reliant both socially and financially.

For its entrusted children **Marco Home** receives subsidies from the state and the local administration. However, the official budget always falls short of the youngsters' needs. So, please extend your generous hand in recognition that these young people in **Marco Home** do need help for their finances. Thank You!

小田文裕 Oda Fumihiro, Manager (マルコの家 Marco no ie)
 Marco Home for self-reliance assistance Social welfare legal body Easter Village
 14-28 Numawada-cho, Donations by postal remittance (YUCHO BANK)
 Tochigi City 328-0042 Account No. 00150-6-774249
 Tel/Fax : 0282-21-7740 Account name: マルコの家

Marco home FOCUS

今回は、マルコの家に住むボランティアに来て下さっている柏倉匡(かしわぐら きょう)さんに、マルコの家にいる子ども達への思いを書き綴って頂きました。
マルコの家の開所に伴い、ずっと4年間、宿直のボランティアを続けて下さっています。
子ども達がリビングにいと、一緒にテレビを観て、一緒に笑って下さいます。
仕事の話や、人間関係の話、常識的なルールや世間話など、子ども達に寄り添って話を聴き、アドバイスを下さったりします。先日は子どもの夏休みの宿題もみて下さいました。
柏倉さんは、まだ30代と若いので、うちのガールズに密かに人気だったりします(笑)
先日、うちのUちゃんが、「今日のお泊まり誰〜?」と聞いてきたので、「今日は匡さんだよ〜。」と答えると、「じゃあ、来るまで寝ないで待ってる!!」と言っていました(驚)
実はUちゃん、そう話した一週間前の木曜日の夜、宿直ボランティアに来て下さっていた柏倉さんに、国語の宿題を見てもらったのです。「ねえ!!全然分からない!!」と言ったUちゃんに、柏倉さんは、丁寧に教えてくれていました。
それが、Uちゃんには嬉しかったのだと思います。(私の勝手な想像ですが・・・)
それで、いつも21時には寝てしまう彼女が、「起きて待ってる」と言ったのではないかと考えて、思わず嬉しくなり、にやけてしまいました。“気持ちって、ちゃんと伝わるんだな”なんて改めて思いました。

ちなみに、マルコの家には、宿直のボランティアに来て下さっている方が5名、夕食を週に一度作りに来て下さるボランティアの方が1名、いらっしゃいます。
宿直のボランティアの皆さんは、22時にマルコに来て頂き、翌朝の6時まで、マルコに泊って頂きます。
もちろん、翌日仕事がある方も、時間に変更はありません。
私達、マルコを運営する職員は4人おりますが、宿直できる回数が限られているので、回数を上回ってしまわないよう、ボランティアの皆さんに、宿直をお願いしています。
私達マルコを運営する職員達も、一緒に泊ってはいるのですが、夜に自分(職員)以外に頼りにできる大人がいるというのは、職員にとっても、子ども達にとっても、心強いものです。子ども達が大人と関われる機会があるというのは、貴重な時間だとも思っています。本当に心から、感謝しています。
なんだか長くなってしまいましたね。そろそろ、本題の柏倉匡さんの「思い」を、ご紹介させていただきます。

「マルコの家の子供達への思い」

マルコの家に入居している子ども達は、皆それぞれの理由で親と一緒に暮らす事ができなくなり、共同生活を送っております。普通なら親と暮らすことで親から教わる常識や道徳、愛情等が他の同世代の子ども達と比べると受ける機会が少ないまま、ここまで来たことと思います。そんな彼等、彼女等に私たちができる事は、これから社会に出て行く子ども達に少しでも、社会人としての常識、道徳、楽しさを伝えてゆく事だと思っています。
親ほど歳が離れているわけではないので、あまり偉そうに言える経験はありませんが、私に出来る範囲と接し方で、少しでも子ども達が楽しく、これからの人生を歩んでいくことができれば・・・
柏倉 匡

どうもありがとうございました。
マルコの家の子供達は、こうして、多くの方達にいつも支えられています。
私達職員も然り・・・。

いつもいつも、応援して下さいる皆様に、心から御礼申し上げます。
子供達には、大人の存在が必要です。
優しく、温かく、時に厳しく、相手を思いやり、見守る大人が必要です。
どんなときにも見放さず、寄り添い、支えてくれるそんな大人が必要です。

マルコの家に来て下さるボランティアの皆様をはじめ、寄付・寄贈をして下さる皆様、賛助会員となって頂いた皆様、プレゼンテーションを行うのに際して、ご協力頂きます教会関係者の皆様、たくさんの応援をしていただける皆様に、子ども達の幸せな未来と一緒に思い描き、実現に向け一丸となってサポートし続けて行けますよう、これからもご支援よろしくお願い致します。

スタッフ 関口